

介護ステーション ぶらんち ニュースレター

Vol. **81**

令和5年9月号

考える力とコミュニケーション、そして自身の役割

まだまだ残暑厳しい日が続いていますが、朝夕の風は確実に秋の気配を感じます。さて、巷では、バスケットボールの奇跡やラグビーワールドカップの話題でもちきりです。

最近、スポーツ界のニュースは、元気をもらえることが多いように感じます。

先日、何気なくNHKを観ていたら、ミスター・ラグビー 松尾氏の軌跡が流れ始めました。

話される内容が心打つ言葉ばかり。

明大で突然ポジション変更になったエピソードでは、初めは、ふてくされ全くやる気がわかなかった。が、父からの手紙で、目からうろこ。

何のためにラグビーをやっているのか、

自分のポジションのためにやっているのか。

明大が優勝するためにやっているのではないのか！と。

自身の役割は明大の優勝のために、何が出来るのかなんだ！と気づいた、と。

少し、成長し始めると、自身の名声に拘ってしまいがちですが、

個人ではなく所属している組織のミッションに自分は何が出来るか、

を考え行動することに気づけた者が

新たなステップ、世界、経済への道が開ける。
レジェンド、と言われる所以が理解出来ました。



(本人提供)

介護業界を盛り上げよう！！

いつから、日本人は思いやりがなくなったのだろうか。

よく、外出介助をしますが、その際、電車を利用します。

電車に乗った時、

介助しながら乗車した私たちに席を譲ってくれるのは、

大方、外国人観光客の方々。

日本の学生さんたちは、

座って、スマホをいじって、

気づかない、気づかないふり？

をします。

よく考えてみると、

学生さんたちは、介護、ということを知らないだけではないか、

と思うようになりました。

核家族化が進み、高齢者の方や障害の方と触れ合うことが少なくなった時代で生きているから、仕方がないのかもしれませんが、

もっと触れ合う機会を創りたい、そうすると、優しい街への実現の1歩になる！

ぶらんちの今を紹介

9月より、
介護ステーションぶらんち 新富は
介護ステーションぶらんち
に統合致しました。

また、10月より
介護スタッフ 2名 増員
となります。

20代と50代の男性スタッフ

両スタッフとも、
介護初任者研修修了者、です。

ただ、訪問介護は初めてです。

仕事を覚えるまでは、
何かとご協力頂くこともあるかとは思いますが、
既存スタッフも一所懸命、教育・同行してまいります。

何卒、よろしくお願い致します。